真岡市新庁舎周辺整備基本計画（案）に対するパブリックコメント 意見の概要と市の考え方

(提出者1名、提案数1項目)

	計画内容等	提出された意見提言等の内容	意見に対する市の考え方	修正の有無
1	<p>全て 基本的な考え方として</p>	<p>同計画案全ての、数年度の再検討もしくは廃案を提案します。</p> <p>コロナ禍に見舞われ、政府からも新しい生活様式が発表されました。</p> <p>コロナ禍以前であれば、十分検討された良案に思われますが、あくまでも「コロナ禍以前」に立案されたものです。残念ながら今は全てが一変してしまいました。仕方がないことですが、国も市も市民も誰しもが将来の予測が不可能で、本計画もコロナ禍後ではそぐわない可能性が否定できません。</p>	<p>新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に基づき、市民一人一人が日常生活を営む上でも「3密」の回避等の行動変容が必要となっております。</p> <p>新庁舎周辺整備基本計画（案）における複合交流拠点施設は、市民の生涯に渡る学習機会を提供し、学習の場となる図書館機能を核として、子どもの健全やかな成長のため子育ての相談に対応しながら、親子が天候に関わらず、安全に遊ぶことができる子ども広場を備えた子育て支援機能に加えて、利用者の利便性を向上させる商業機能と、市民が日常生活の中で気軽に立ち寄ることができ、住民相互の交流の場となる地域交流機能からなる複合施設として、市民にとって自宅や、学校、職場とは異なる、新たな居場所となることを目指すものです。</p> <p>今後、コロナ禍以前からの行動変容が必要となるものの、市民にとっての生涯学習拠点、子育て支援拠点の重要性、必要性が失われるものではありません。</p> <p>そのため、今後、具体的な設計・建設・運営・維持管理を担う事業者の募集選定等の段階においては、新型コロナウイルスへの対策や、「新しい生活様式」への対応、市の財政状況に対しての影響についても十分に注視しながら、事業を進めてまいります。</p>	修正無